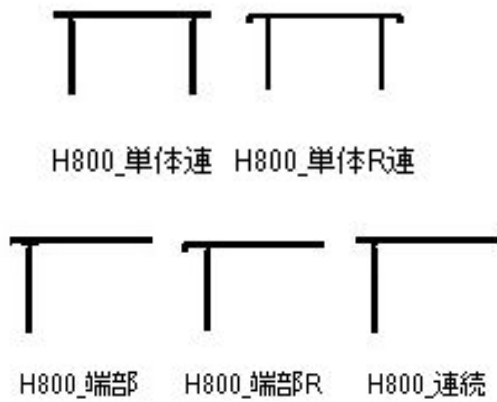


手摺の種類・配置方法

様々な手摺の作成方法をご説明します。



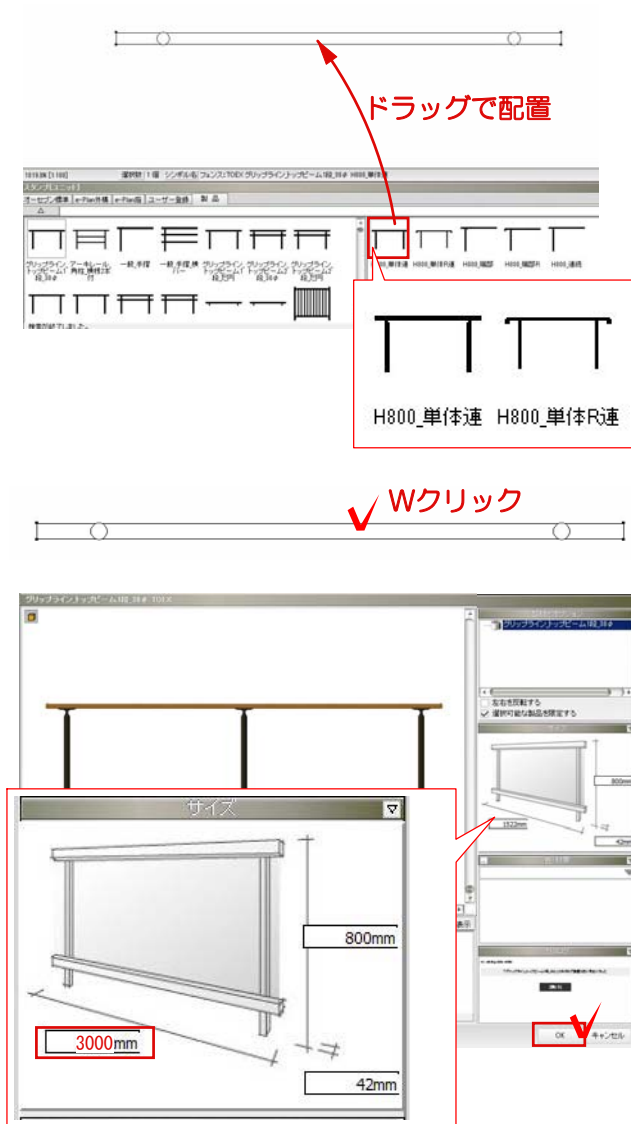
手摺を作成する方法

方法1：連続して手摺を作成する方法

単体の連続を使用して作成する方法です

方法2：扉の中で手摺を作成する方法

扉の中で端部の手摺を使用して作成する方法です。

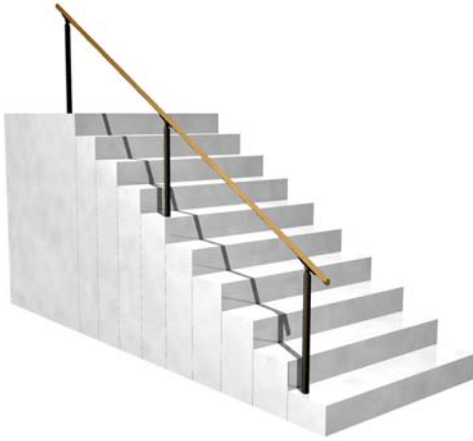


方法1：連続して手摺を作成する方法

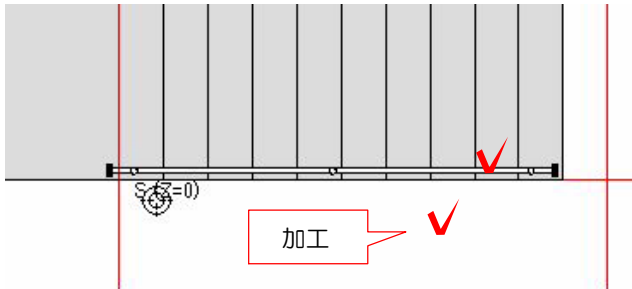
1：配置したい手摺の中の単体連の手摺を平面図上にドラッグで配置します。

2：手摺の上でWクリックします。

3：1500のスパンであれば、3000という形で入力するとスパンに合わせて柱が配置されます。
スパンが決定したら、OKボタンで画面を閉じます。

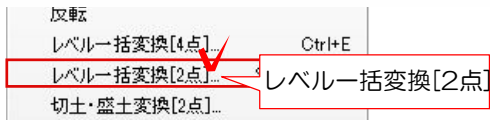


4：配置した手摺を階段にそって斜めに作成します。

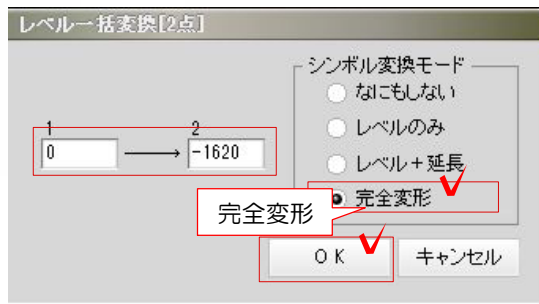


5：階段の形状に合わせて手摺を配置します
配置した手摺をクリックで選択します。

6：加工からレベル一括変換を選択します。



7：手摺の柱の部分をクリックで2点クリックで選択します。



8：1と2にクリックした部分のレベルを入力し、シンボル変換モードを完全変形にしOKを選択します。

※完全変形にチェックを入れた際に、このモードで変形した製品シンボルはeE-Formerで編集できるようになりますとメッセージが出てきますがOKを選択します。

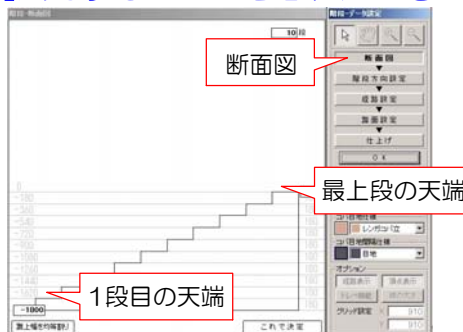
レベル一括変換の詳細内容は



テキスト P2-44参照



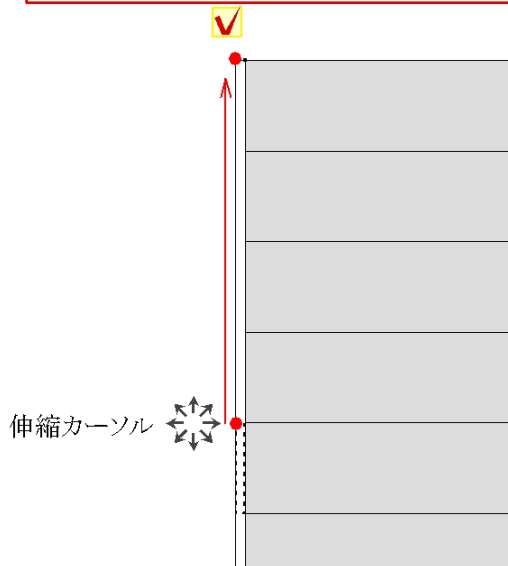
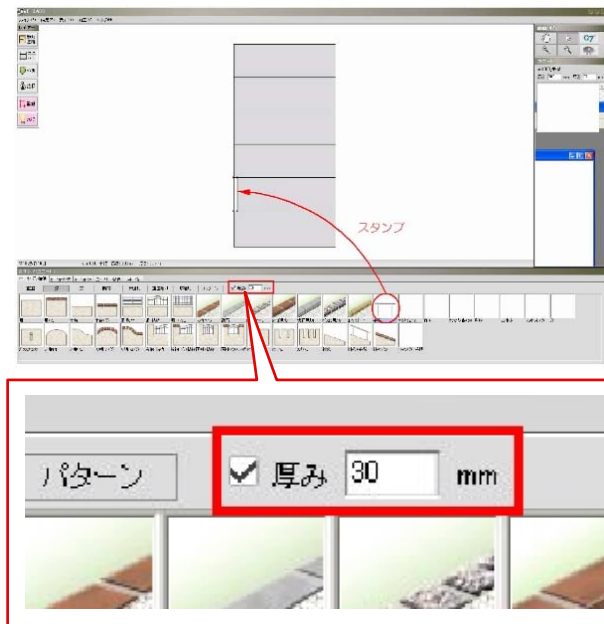
【入力するレベルを忘れたときは】




階段の断面図の部分で、1段目の天端と最上段の天端をあらかじめメモしておくことで計算しなくてもすぐに入力する事ができます。

方法2：塀の中で手摺を作成する方法

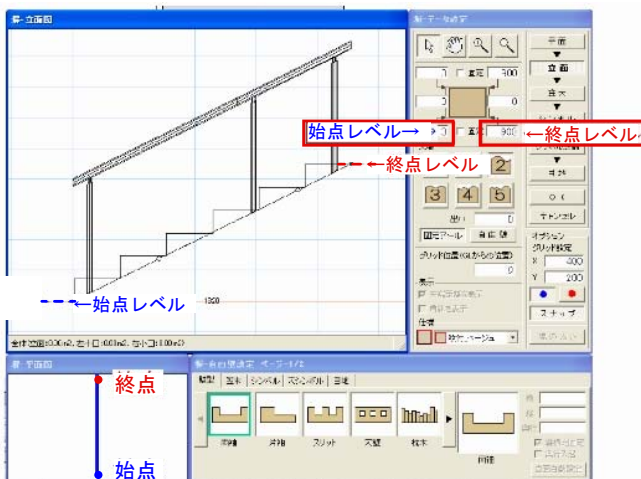
1：厚みを入力しスタンプ[ユニット]から手摺を選択して配置します。



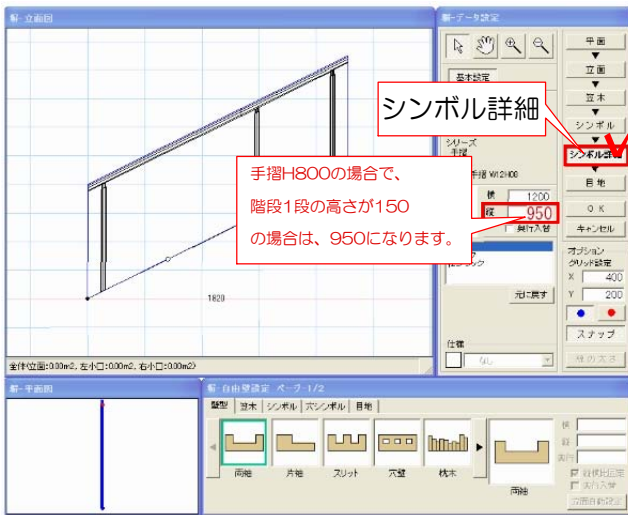
2：階段の1段1段にスナップしてしまうので、配置したい長さ伸ばします。塀の頂点（四隅）にマウスを合すと伸縮カーソル  ができます。ドラッグし伸ばしたい点でクリックすると伸ばす事ができます。

3：塀の上でWクリックします。

4：階段の1段目のレベルを始点レベルに階段の最上段を終点レベルに入力しEnterを選択します。



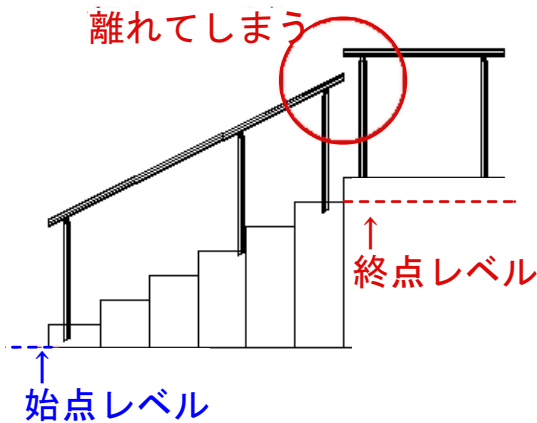
この時固定のチェックは必ずはずしておきましょう。



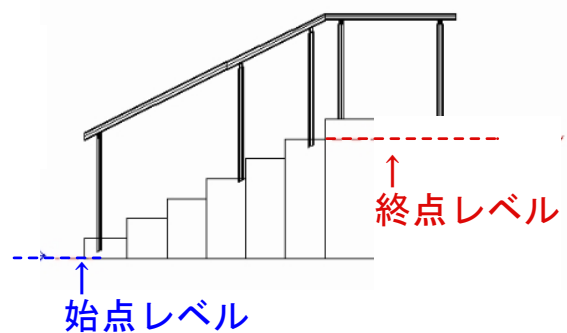
5：次にシンボル詳細を選択し、手摺の高さを階段の1段分プラスします。

※詳細は下記参照

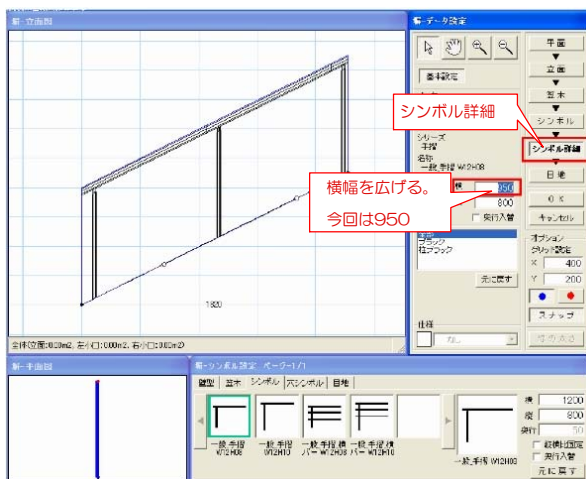
【高さが合わなくなります】



5の作業をしないと、手摺の天端がズレてしまいます。



一屏の中でピッチを変更する方法



1：配置したシンボルをクリックして、シンボル詳細を選択します。

2：横のサイズを変更します。
サイズを変更すると、柱の本数が追加されて配置されます。